

高齢者肺炎球菌ワクチン説明書

肺炎球菌ワクチンは肺炎球菌による肺炎を予防し、重症化を防ぐと言われています。接種してから免疫ができるまで、およそ3週間かかり、1回の接種で5年以上免疫が持続します。

また季節を問わず接種することが可能です。※全ての肺炎を予防するものではありません。

肺炎球菌の予防接種を実施するにあたって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、別紙の予診票にできるだけ詳しくご記入ください。ご高齢の方でご自身での記入が難しい方が接種を希望されている場合には、健康状態をよく把握しているご家族など代理の方が記入してください。なお、接種される方の接種希望確認ができない場合は接種できませんのであらかじめご了承ください。

※この予防接種は、予防接種法に基づく定期の予防接種ではなく、任意の予防接種です。万一健康被害が生じた場合は、予防接種健康被害救済制度の適用にならず、医薬品副作用被害救済制度（救済の額は、予防接種法に比べて概ね2分の1）が適用になります。

（予防接種ができない人）

次のいずれかに該当すると認める場合には、接種を行ってはいけません。

1 過去5年以内に肺炎球菌ワクチンを接種した方

1度接種を受けて、5年以内に再接種すると、副反応が強く出る場合があります。

2. 明らかに発熱のある方
3. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
4. 放射線、免疫抑制剤等で治療中の方
5. 本剤の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
6. その他、予防接種を受けることが不適當な状態にある方

裏面もご覧ください。

(予防接種に際し、注意を要する方)

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当する場合には、注意して接種しなければいけません。

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などで医師の治療を受けている方
2. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱のみられた方および全身の発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある方
3. 今までにけいれんを起こしたことがある方
4. 過去に免疫不全の診断がなされている方および近親者に先天性免疫不全症の方がいる場合
5. 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

(接種後の注意)

1. 接種当日は、激しい運動を避けてください。また接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすらないようにしましょう。
2. 接種後に発熱したり、注射部位が腫れたり、赤くなったりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常数日中に消失します。
3. 接種後は、自らの健康管理に注意し、もし高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診察を受けて下さい。

○お問い合わせ

小鹿野町保健福祉センター

保健課

7 5 - 0 1 3 5